

時間割番号	科目名[英文名]	単位数
9	地域林業論(含演習)[Regional Forestry]	1
担当教員(責任)[ローマ字表記]		
松本美香 Matsumoto Mika		
担当教員[ローマ字表記]		
松本美香 Matsumoto Mika 、森信 光夫 Morinobu Mitsuo		

授業題目(必須入力)

地域林業論(含演習)(Regional Forestry)

授業のキーワード(必須入力)

木材流通、経済効果、森林経営、生産管理、持続可能性

授業の目的(必須入力)

授業では、林業が地域にとってどのような重みで役割を果たしているか、また今後どうあるべきかをテーマとし、地域林業の現状把握方法および所有森林経営または森林管理受託経営の持続性確保のための考え方を学びながら、持続的な地域林業構造について多面的に考える。また、これからの森林管理は誰が主体となって行すべきなのかに関して、歴史的な例および現状事例から考察する。

授業の到達目標(必須入力)

- 森林を管理されるものとして位置づけ、森林の現況とあるべき姿を具体的に表現ができる。
- GISを使用して、森林の現況について第三者に説明責任を果たせることを理解し説明できる。
- 地域の林業構造の現状を多面的に捉えることができる
- 所有山林の持続可能な管理計画の実現に必要な要素を想定し、計画を立案することができる
- 森林管理受託事業における持続可能な経営のための森林受託管理計画の実現に必要な要素を想定し、計画を立案することができる

授業概要(必須入力)

- 森林の管理は誰が主体となって行すべきなのか、歴史的な例と現場の事例から考察する。
- GISを利用した精密な森林管理手法を現場に適用し、その結果が関連産業分野や地域に及ぼす波及効果について考察する。
- 地域林業構造を、木材流通面、金銭流通面、構成主体面などの側面から捉え多面的に考察する。
- 地域林業構造の源泉である地域森林の管理手法について、従来の技法を踏まえて考察する。

授業スケジュール(必須入力)

【1日目:4コマ】
 森林・林業の新たな展開について
 ● 林業が果たすべき説明責任と精密な森林管理システムの導入
 ● 新たな管理システムによる林業の実際と森林・林業のこれからの展開
 ● 森林・林業に対する新たなイメージについてのディスカッション

【2日目:4コマ】
 森林管理方法について
 ● 収穫計画法および成熟度の活用
 地域森林管理について
 ● 所有山林の森林管理計画
 ● 森林管理受託事業の森林管理計画

【3日目:4コマ】
 地域林業構造について
 ● 木材流通面 ~中四国を例として~
 ● 金銭流通面 ~地域における林業の意味~
 ● 構成主体面 ~連携と機能分化を考える~

授業時間外学習にかかわる情報(必須入力)

授業時間内の講義内容を反復したり、参考書等を用いてより理解を深めること。講義終了後に、講義内容や現場での学習について成果や課題のとりまとめを行わせることもある。

成績評価方法(必須入力)

- 課題レポート:2つ(各50点)

受講条件(任意入力)

全課程を履修できることが望ましい。

受講のルール(任意入力)

グループワークへの積極的な参加、ディスカッションを楽しむこと。

教科書(購入する必要のある図書)(必須入力)

教科書1	書名	—			ISBN	
	著者名	—	出版社	—	出版年	
教科書2	書名				ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

参考書(購入する必要はないが、推奨する図書)(必須入力)

参考書1	書名	森林経営の新たな展開—団地法人経営の可能性を探る—			ISBN	4-92435-00-5-C0060
	著者名	林業経営の将来を考える研究会	出版社	(社)大日本山学会	出版年	2010年
参考書2	書名	日本人はどのように森をつくってきたのか			ISBN	4-8067-2240-5 C0036
	著者名	コンラッド・タットマン	出版社	築地書館	出版年	1998
参考書3	書名	森林飽和(国土の変貌を考える)			ISBN	978-4-14-091193-8 C1336
	著者名	太田 武彦	出版社	NHK出版(NHKbooks)	出版年	2012
参考書4	書名	日本林業はよみがえる			ISBN	978-4-532-356457-2 C3033
	著者名	梶山 恵司	出版社	日本経済新聞出版社	出版年	2009
参考書5	書名	日本林業を立て直す 速水林業の挑戦			ISBN	978-4-532-35534-0
	著者名	速水 亨	出版社	日本経済新聞出版社	出版年	2012

教科書・参考書に関する補足情報(必須入力)

必要なレジュメや資料は講義当日印刷物で配布します。インターネット上で参照できる富士通総研研究所報、三菱UFJリサーチ&コンサルタント季刊政策・経済研究報の一部を予習・復習教材として使用することもあります。

オフィスアワー(必須入力)

講義前後もしくはメールで対応

連絡先(必須入力)

松本美香: matsumoto-mika@kochi-u.ac.jp
森信光夫: morinobu@agr.ehime-u.ac.jp

参照ホームページ(任意入力)

<http://jp.fuiitsu.com/group/fri/report/research/index-kaiiyama.html>
<http://www.murc.jp/thinktank/rc/journal/quarterly>

その他(任意入力)

この講義では、林業・林産業が様々な範囲の地域で切り取った際にどのような存在として見えてくるのか、また林業・林産業の源泉である森林の持続的利用の観点から見る地域とは、そして、そういった地域の中で、個々の林業者が、一体何を考え何をするのか、受講者の皆さんに考えていただきたいと思っております。